

プロジェクトの概要

本事業は、こども健康学科の新たな教育の特色として、自然教育を教育の柱とした**豊かな人間性と保育実践力を備えた専門職の育成**を目指すプロジェクトです。このプロジェクトでは、1年生から4年間かけて全学共通科目や専門教育科目での学びを、都田の自然のなかで子どもたちや地域の方々との活動と連動させながら、各学年で段階的に人や自然を慈しみ守る心と保育実践力を高めていく教育を体系的に行っていきます。

これまで取り組んできたこととその成果



本プロジェクトとカリキュラムとの関連図

これから目指すこと

本プロジェクトでは、自然の中で仲間や子どもたちとともに実体験を重ねながら、仲間と助け合うことの大切さや子どもたちへの自然教育の意義などを学んできました。これからは、自然をモチーフに子どもたちが感じている世界に着目して、五感や創造性を育むような遊びの提案ができるような教育も行なっていく予定です。

令和5年度：自然教育を軸として教育体制の整備・補完を行いました。

入学初年度に自然教育として森林教育やお泊り保育体験、現役保育士による教育指導などを行い、自然の持つ力を体験しました。学生たちは、仲間と助け合うことの大切さや自然への新たな気づき、自然とのかかわり方の意味などを考えることができました。こうした自然を通して実体験を重ねることは、子どもたちに自然をふまえた遊びを通して心や体を育む保育者になる者として、貴重な教育の機会になると 생각ています。

令和6年度：自然をモチーフにした遊びを考案しながら、保育で大切なことについて考えました。 造形表現で学習したことをふまえ、親子教室ポッケに参加している親子に遊びの提案を行いました。学生たちは1~2歳児と初めて触れ合って、子どもがかわいいという気持ちと、遊びの提案の難しさを感じていました。また、子どもたちとのかかわりを通して、自然の色や形、素材などの概念の幅を広げて考えることができました。

